

19年第2回
定例区議会

国保料値下げ、子育て支援、住宅対策など

区民要求実現に全力

日本共産党

改選後初めての定例会、2019年第2回定例区議会が6月19日から7月8日の日程で開催されました。一般質問には、渡辺くみ子議員、清水みちこ議員がたち、区民の暮らし福祉を守る公約実現の立場で、区長に質しました(2面参照)。

現在豊島区では、東アジア文化都市記念事業として、大型プロジェクトが進められ、「投資的経費」が大幅に増えています。

今定例会で提案された、4つの契約案件だけで45億円余となります。審査された総務委員会で、儀武さとの議員は、「区長の進

める来街者のための大型開発には何億ものお金をつぎ込むのに、一方国保料の引き下げや住宅など区民要求には応えない。区長の姿勢が問題だ」などと指摘。議案に反対しました。

また、区民から「2019年10月からの消費税10%引き上げ中止を求める意見書」提出に関する請願が出され、請願者の意見陳述が行われました。日本共産党は立憲としまとともに採択を求めましたが、自民党、公明党、都民ファースト・民主の会が不採択にし、区民の願いに背をむけました。

膨らむ「池袋を中心としたハコモノへの税金投入」

①池袋西口公園改修工事請負契約の一部変更について

池袋西口公園を劇場化し、舞台や巨大なリングなどを設置する工事について、昨年度行った契約金額の増額などをするもの。2億104万円余の増額分のうちリングの工事変更で1億4,550万円余となっており、凝ったデザインにしたことから工事費が膨れ上がったのです。

②電気バスの買入について

池袋の4つの公園を回遊する来街者のための電気バス(イケバス)。昨年度7台を買入する契約が可決されていますが、それに加えて3台を買入するものです。

③中池袋公園改修整備工事請負契約の一部変更について

昨年度契約した工事について、景石ベンチの座面の仕上げ方法の変更や園名板の仕様変更などで1,169万円増の3億4,383万円余に変更します。アニメイトが経営するカフェを設置

し、中池袋公園を「アニメの聖地・池袋」を世界に発信する施設としています。

④大塚駅北口駅前広場整備工事契約について

トイレの改修など駅前の整備とともに約5億8,000万円かけて「光のファンタジー」として大リングや3つのモニュメントを作る工事です。

今議会の契約案件	当初額	今議会契約・増額分	総額
①池袋西口公園	23億8,000万円	2億104万円	25億908万円
②電気バスの買入れ	2億1,800万円	8,645万円	3億445万円
③中池袋公園	3億3,213万円	1,169万円	3億4,383万円
④大塚駅北口広場	—	13億9,916万円	13億9,916万円
総額	29億3,013万円	16億9,834万円	45億5,652万円

意見のわかれた主な議案等	会派等											結果
	区自民議団豊島	公明党	都民ファースト	日本共産党	立憲としま	無所属の会	無所属元気の会	豊島ネット	ししま会	豊島らし会	あたらし会	
電気バスの買入れ、大塚駅北口駅前広場整備工事請負契約、池袋西口公園改修整備工事請負契約の一部の変更、中池袋公園改修整備工事請負契約の一部の変更	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
米軍普天間飛行場の辺野古移設の促進を求める意見書	○	○	退席	×	×	×	×	×	○	×	×	可決
婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
「2019年10月からの消費税10%引き上げ中止を求める意見書」提出に関する請願	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択
旧区立朝日中学校跡地に園庭のある認可保育園の建設を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査

 <p>渡辺 くみ子 区議団団長 区議団副幹事長 区民厚生委員 施設・用地副委員長 ☎3971-1950</p>	 <p>儀武 さとの 区議団幹事長 議会運営副委員長 総務委員 防災・震災委員 ☎3918-9458</p>	 <p>小林 ひろみ 都市整備委員 副都心副委員長 行財政委員 ☎3955-8244</p>	 <p>清水 みちこ 子ども文教委員 環境・清掃副委員長 ☎6912-8679</p>
--	--	--	---



区民のいのち・暮らし第一の 区政に転換を

渡辺くみ子議員が一般質問

区長の政治姿勢について

消費税10%の導入は、区民に更なる負担増を招くもの。区長として反対を表明するよう強く求めました。しかし区長は「消費税はすべての国民が薄く広く負担する公平性の高い税」「社会保障の財源にふさわしい」「反対はしない」と答弁しました。

区長の区政に臨む基本姿勢について

第一に財政運営について

東アジア文化都市記念事業の今年度予算は248億円。主なものは芸術文化劇場84億円、区民センター61億円、中池袋公園2億円、池袋西口公園26億円、造幣局地区防災公園36億円、電気バス2億円、保健所移転3億円です。また市街地再開発事業経費は2か所で今年度12億円です。区長は所信表明で「起債額(借金)が貯金を上回った」「3年後には貯金が起債を上回るよう効率的、効果的な執行に努める」と発言。

渡辺議員は「これはやるべき区民サービスを削ることを示唆している。区民サービスの維持、向上をどう担保するのか」と質しました。区長は「区政運営の基本は子育て、福祉、教育、防災であり、区民サービスの向上に努める」と強調しました。

第二に住民無視で進める造幣局跡地開発やまちづくりについて

渡辺議員は「区長は住民や議会を無視し再開発事業やまちづく

り等を一方的に進めている。区民無視の対応は直ちにやめよ」と指摘。区長は「しっかりと説明責任を果たしていく」と答弁。

第三に区民生活の実態の認識と対策について

渡辺議員は日本共産党区議団アンケートで「税金、保険料の負担が重くなった。これ以上の負担には耐えられない」が77%占めている状況を示し、区民生活の実態の認識と負担の軽減対策を質しました。区長は、「実態は承知している。丁寧に対応する」と答弁するも、「税金、保険料の軽減措置はしない」と冷たい答弁でした。

国民健康保険料の 軽減措置の実施について

国民健康保険料は所得割分と均等割分があり、高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める声が大きく上がっています。渡辺議員は「当面、区独自で国保料一人1万円の引き下げの実施を」と強く求めました。しかし区長は「区独自に実施する考えはない」と冷たい答弁を繰り返しました。

コミュニティバスの導入について

最後に渡辺議員は4月19日に起きた高齢者の運転による悲惨な事故を取り上げ、高齢者の免許返納を進めるためにも、コミュニティバス導入を強く求めました。区長は「早急に導入する考えはないが今後検討する」と答弁しました。

区民の声をきき、だれもが 安心して暮らせる豊島区を

清水みちこ議員が一般質問



羽田空港の増便に伴う 新飛行ルート計画

豊島区上空を多くの便が低空飛行する計画に、区民から不安や反対の声が上がっています。これまで区議団は、計画の白紙撤回と教室型説明会の開催を求め、この度、区内で初めての教室型説明会が開催されました。

しかし国は区民の疑問や不安に真正面から答えない一方で、オリンピック、パラリンピックを目途に実現したいと明言しました。

清水議員は「区民の理解を得ないまま、絶対に見切り発車で進めてはならない」と指摘。さらに「なぜ区長は説明会に出席しなかったのか。区民の声を直接聞き、区民の命、財産を守るため国に白紙撤回を求めるべき」と区長の政治姿勢を質しました。

これに対し区長は「詳細な報告をその都度受けており私が出席しなくてもよいのではないか」「羽田空港の機能強化は必要」「豊島区が進めるアートカルチャー都市構想へも貢献」と答弁。「国に白紙撤回を求めるつもりはない」とこれまで通り計画に賛同する態度のままでした。

子育て支援

義務教育は無償が原則です。今でも保護者の給食費負担は大変重く、10月に消費税増税されればさらに負担増が懸念されます。

清水議員は「義務教育無償化は国の責任で行うものだが、国の動きを待つのではなく、給食費無償化に踏み切るべき」と求めました。しかし区は「負担の原則どおり、食材費については保護者に負担をお願いするもの」と切り捨てました。

また「子どもの医療費」を18歳まで無料にすることは子育て世代の切実な願いです。清水議員は「約1億5千万円あれば実現できる」と求めましたが、区は「18歳まで引き上げる考えはない」と冷たく背を向けました。

住宅施策

清水議員はこれまで家賃補助制度の拡充を繰り返し求め、今年度から「子育てファミリー世帯家賃助成」、「高齢者等住替え家賃助成」が拡充されましたが、まだまだ不十分です。

「若者から高齢者まで低所得者に対する家賃補助制度は、月1万円の補助を千人に広げても1億2千万円で実現可能。家賃補助制度の拡充は不可欠」と求めました。しかし区は「慎重に取り組むべき課題」と後ろ向きの答弁に終始しました。

